

# 中堅看護師の臨床実践能力とマネジメント力の関連

著者	前城 公子
学位授与機関	滋賀医科大学
学位授与年度	令和2年度
学位授与番号	第249号
発行年	2020-09-09
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10422/00012858">http://hdl.handle.net/10422/00012858</a>

氏 名 前城 公子

学 位 の 種 類 修士（看護学）

学 位 記 番 号 修士第 249 号

学 位 授 与 の 要 件 学位規則第 3 条第 1 項

学 位 授 与 年 月 日 令和 2 年 9 月 9 日

学 位 論 文 題 目 中堅看護師の臨床実践能力とマネジメント力の関連

審 査 委 員 主査 教授 河村 奈美子

副査 教授 喜多 伸幸

副査 准教授 荻田 美穂子

## 論文内容要旨

※整理番号	254	(ふりがな) 氏 名	(まえしろ きみこ) 前城 公子
修士論文題目	中堅看護師の臨床実践能力とマネジメント力の関連		
<p>1. 研究目的 中堅看護師に臨床実践能力とマネジメント力の関連について明らかにすることである。</p> <p>2. 研究方法 研究対象者は、近畿2府4県の特定機能病院、一般病院、地域医療支援病院で、300床以上の病院の中から、臨床経験5年以上15年未満で、約3～5年間類似した患者集団を対象に働いている職位を持たない看護師350名（有効回答率27.1%）を分析対象に、自記式質問紙調査を行った。質問紙は、経験年数や役割の有無、役割数などの基本属性と、「キャリア中期看護師の臨床実践能力測定尺度 ver.3」と、マネジメント力を示す、「中堅看護師の職場で求められているコンセプトチュアルスキル・ヒューマンスキル・テクニカルスキル尺度」で構成した。分析は、t検定、一元配置分散分析を行い、群間因子の比較にはTukeyの多重比較検定を行った。また、マネジメント力を示す、各スキルの総合得点と基本属性を説明変数として重回帰分析を行った。</p> <p>3. 結果 臨床実践能力に有意差を認めた個人属性は、役割の有無(<math>p &lt; 0.01</math>, t検定)と役割数(<math>p &lt; 0.01</math>, 一元配置分散分析)であった。また役割数を便宜上、0, 1, 2, 3, 4個以上の5群に群分けし、役割数別の臨床実践能力を比較した結果、役割数と臨床実践能力の間で有意差を認めた(<math>p &lt; 0.01</math>, 一元配置分散分析)。特に、0個と2個(<math>p &lt; 0.01</math>, Tukeyの多重比較検定)、0個と3個(<math>p &lt; 0.01</math>, Tukeyの多重比較検定)の間で有意差を認めた。 臨床実践能力にも関連のあるマネジメントスキルは強い順に、【ヒューマンスキル】の「リーダーシップ力」(<math>p &lt; 0.01</math>)、【テクニカルスキル】の「自己教育力」(<math>p &lt; 0.01</math>)、「役割遂行力」(<math>p &lt; 0.01</math>)、「看護実践力」(<math>p &lt; 0.01</math>)、【ヒューマンスキル】の「教育する力」(<math>p &lt; 0.03</math>)、【コンセプトチュアルスキル】の「本質を思考する力」(<math>p &lt; 0.01</math>)であった。</p> <p>4. 考察 中堅看護師の臨床実践能力に関連するマネジメントスキルの構成要素としては、【テクニカルスキル】の「役割遂行力」、「看護実践力」、「自己教育力」、【ヒューマンスキル】の「リーダーシップ力」、「教育する力」、【コンセプトチュアルスキル】の「本質を思考する力」であった。特に、ヒューマンスキルは、臨床の中核を担う中堅看護師にとって、チームの関係性の構築や他者への影響力にかかわる重要なスキルであるにもかかわらず、自己評価が低い結果であった。中堅看護師の臨床実践能力とマネジメント力に関連はあるが、臨床実践能力を高めることが、必ずしもマネジメント力を高めることにはならず、今後は特に、ノンテクニカルスキルに該当する、【ヒューマンスキル】を強化する必要がある。また、キャリア中期に抱える4つの課題への支援の継続が重要である。</p> <p>5. 総括 中堅看護師のマネジメント力の教育には、ノンテクニカルスキルとなる、ヒューマンスキルやコンセプトチュアルスキルを強化する教育内容と、キャリア形成における課題に向き合い、評価に至るプロセスが可視化できる教育体制を充実させる必要がある。そして、早い段階から実践を通して育成する体系化された教育体制を構築することが必要不可欠である。</p>			

(備考) 1. 研究の目的・方法・結果・考察・総括の順に記載すること。(1,200字程度)